Cochlear™

Nucleus® CR110 リモートアシスタント

取扱説明書

Hear now. And always

Cochlear™

記号

	アドバイス 重要なお知らせとアドバイスです。問題を解決するのに役立ちます。
	警告 安全上の問題、または深刻な有害反応が起こる可能性があります。 人体に有害となる恐れがあります。

目次

はじめに 7
本書の目的 7
Cochlear Nucleus CR110 リモートアシスタント 7
リモートアシスタントについて 9
リモートアシスタントの各部名称 9
ご使用の前に 11
リモートアシスタントを充電する 11
リモートアシスタントを初めて充電する場合 11
リモートアシスタントを充電する場合 11
リモートアシスタントを充電するタイミング 12
リモートアシスタントを充電するには 13
リモートアシスタントを起動/停止する 18
リモートアシスタントの操作ボタンをロック/ロック解除する 19
リモートアシスタントを使用する 21
リモートアシスタントの表示言語を選択する 21
リモートアシスタントとサウンドプロセッサをペア設定する 22
リモートアシスタントの持ち方および操作 24
シンプルモードとアドバンスモードを使用する 26
シンプルモード 26
アドバンスモード 26
シンプルモードまたはアドバンスモードを選択する 27
ホーム画面 28
プログラムを選択する 29
音量を調整する 31
マイクロホン感度を調整する 32
音量とマイクロホン感度を固定する 33
サウンドプロセッサの状態を確認する 33
テレコイルを使用する 35
オートテレコイルを使用する 36
オートテレコイルからテレコイルに切り替える 36

アクセサリを起動/停止する 36
リモートアシスタントの表示ランプについて 37
サウンドプロセッサをリセットする 38
リセットボタンを使用する 38
両側装用時の操作 39
同時操作モード 41
右または左操作モード 41
操作モードを切り替える 42
設定を変更する 45
サウンドプロセッサの設定を変更する 46
操作ボタンをロック/ロック解除する 46
テレコイルとマイクロホンのミキシング比を変更する 46
アクセサリとマイクロホンのミキシング比を変更する 47
表示ランプ機能の設定を行う 48
パーソナルアラームをオン/オフにする 50
リモートアシスタントの設定を変更する 51
リモートアシスタントのスピーカの音量を調整する 51
警告音/警告画面をオン/オフにする 51
DEMO（デモ）モード 53
リモートアシスタントのお手入れ 55
リモートアシスタントを保護する 55
リモートアシスタントのストラップを使用する 56
リモートアシスタントを水による損傷から保護する 57
リモートアシスタントを清掃する 58
リモートアシスタントの使用に関する
一般的な警告と注意事項 59
リモートアシスタントを使用してサウンドプロセッサの
トラブルシューティングを行う 61
サウンドプロセッサの送信コイルを点検する 62

その他の情報 63
保証書および登録カード 63
技術情報 63
仕様 63
環境条件 65
認可と適合基準 65
機器の分類 65
リモートアシスタントの保護等級 65
連邦通信委員会 (FCC) とカナダ IC コンプライアンス 66
法的事項 69
用語集 71
索引 75

はじめに

本書の目的

本書は、装用者、保護者または介護者の方を対象とした、Cochlear™ Nucleus® CR110 リモートアシスタントの使用法およびお手入れに関する説明書です。本書は、リモートアシスタントを使用して Cochlear™ Nucleus® CP810 サウンドプロセッサと通信する方法も記載しています。

Cochlear Nucleus CR110 リモートアシスタント

Cochlear Nucleus CR110 リモートアシスタントは、Cochlear Nucleus CP810 サウンドプロセッサとの通信が可能な携帯型のリモートコントローラです。サウンドプロセッサからの信号を受信することも可能です。両側装用の場合でも、リモートアシスタントは 2 台のサウンドプロセッサと通信することができます。CP810 サウンドプロセッサ詳細については、『CP810 サウンドプロセッサ取扱説明書』をご参照ください。

リモートアシスタントを使用して、サウンドプロセッサの機能や設定を変更することができます。また、サウンドプロセッサの状態（電池残量など）を知ることも可能です。リモートアシスタント上でサウンドプロセッサのトラブルシューティングを行うこともできます。

図1：CP810 サウンドプロセッサと CR110 リモートアシスタント

© Cochlear Limited 2010

図2：リモートアシスタント

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントについて

リモートアシスタントの各部名称

1. 表示ランプ：リモートアシスタントの機能（リモートアシスタントを充電中など）や問題（リモートアシスタントがサウンドプロセッサと交信していないなど）を光で視覚的にお知らせします。
2. 左上のソフトキー：プログラムを選択したり、サウンドプロセッサの設定メニューを表示します。
3. 切り替えボタン：
   - テレコイル（短く押す）やオートテレコイル（長く押す）のオン/オフを切り替えます。
   - アクセサリを起動/停止します（短く押す）。
4. 左下のソフトキー：プログラムを選択したり、トラブルシューティングガイドを表示します。
5. コクレアボタン：
   - リモートアシスタントを起動/停止します（長く押す）。
   - ホーム画面に戻ります（短く押す）。
   - サウンドプロセッサの状態やメニューを表示します（短く押す）。
6. 左方向キー：感度を下げたり、左にスクロールする際に使用します。
7. 下方向キー：音量を下げたり、下にスクロールする際に使用します。
8. USB ケーブルソケット：リモートアシスタントの USB ケーブル接続用のソケットです。
9. 右方向キー：感度を上げたり、右にスクロールする際に使用します。
10. 上方向キー：音量を上げたり、上にスクロールする際に使用します。
11. 右下のソフトキー：プログラムを選択したり、トラブルシューティングガイドを表示します。
12. ディスプレイ（図 2 はホーム画面を表示）
13. ボタン操作ロック：操作ボタンのロック/ロック解除を切り替えます。
14. 右上のソフトキー：プログラムを選択したり、リモートアシスタントの設定メニューを表示します。

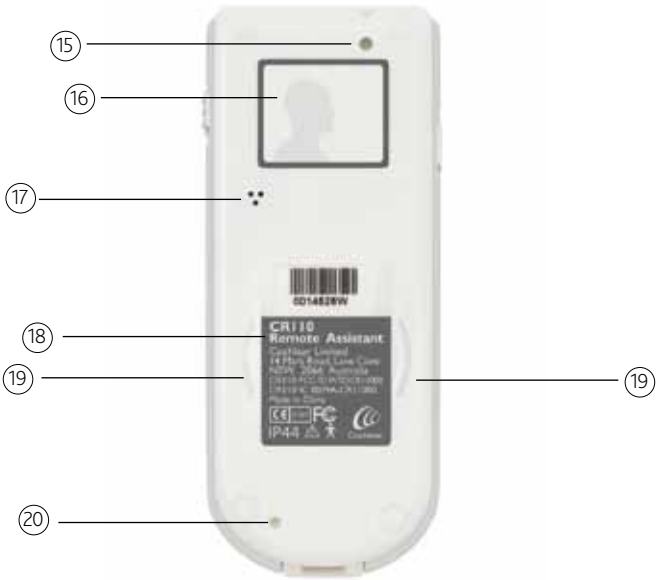


図3：リモートアシスタントの裏面

15. ストラップ取り付け
16. 識別用シール
17. スピーカ
18. 製品情報ラベル
19. コイルマーク
20. リセットボタン：コクレアボタンやリモートアシスタントが機能しなくなった際に、リモートアシスタントをリセットします。

© Cochlear Limited 2010

ご使用の前に

リモートアシスタントをご使用になる前に、以下の説明を必ずお読みください：

- リモートアシスタントを充電する
- リモートアシスタントを起動/停止する
- リモートアシスタントの操作ボタンをロック/ロック解除する

リモートアシスタントを充電する

リモートアシスタントには充電池が搭載されています（取り外し不可）。

リモートアシスタントを初めて充電する場合

リモートアシスタントを初めて使用する際には、フル充電することをお勧めします。フル充電するには約 2 ～ 4 時間かかります。長期間使用するにつれ、充電にかかる時間が長くなる場合があります。

リモートアシスタントを充電する場合

リモートアシスタントをフル充電すると約 1 ～ 2 週間使用できます。ただし、電池の消費量は以下の状態に応じて異なります：

- リモートアシスタントの使用頻度および使用時間
- 使用しない間中、リモートアシスタントの電源を切っているかどうか
- リモートアシスタントで操作するサウンドプロセッサの数（1 台または 2 台）

リモートアシスタントを充電するタイミング

次の場合には充電が必要です：

- リモートアシスタントの電池残量表示画面に、電池残量が少なくなったことが示された場合。リモートアシスタントの電源を入れると、起動画面（コクレア社のロゴ）が表示された後に、電池残量表示画面が表示されます。電池アイコンの緑色のバーが少ないほど、電池残量が少ないことを表します。リモートアシスタントのロック/ロック解除画面にも、電池残量が表示されます。詳細は*「リモートアシスタントの操作ボタンをロック/ロック解除する」*をご参照ください。

- リモートアシスタントの電池残量が少なくなった、または電池切れになったことが表示されない場合でも、週に1度は充電してください。

リモートアシスタントの電池をできる限り長くご使用いただくためにも、本書の説明に従ってご使用ください。

充電時の推奨温度範囲

リモートアシスタントをフル充電するためには、15 ºC ～ 29 ºC の温度範囲内で行ってください。温度範囲がこれを下回る（-2.5 ºC ～ 15 ºC）あるいは上回る（29 ºC ～ 52 ºC）場合、75 ～ 80 % までしか充電されません。 温度が極端に高い（52 ºC を上回る）または極端に低い（-2.5 ºC を下回る）と充電されない場合があります。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントを充電するには

コクレア社が提供している以下のいずれかの充電機器を使用して、リモートアシスタントを充電することができます。

- Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ 電源アダプタとCochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ USB ケーブルを使用する。
- Cochlear Nucleus CR100 シリーズ USB ケーブルを、コンピュータの USB ポートに接続して充電する。
- Cochlear™ Nucleus® CP800 シリーズ 充電器とCochlear Nucleus CR100 シリーズ USB ケーブルを使用する。CP800 シリーズ 充電器を使用して、リモートアシスタントとサウンドプロセッサの充電池を同時に充電することができます。The Cochlear™ Nucleus® CP800 シリーズ 電源アダプタは、充電器を商用電源に接続する際に使用します。

リモートアシスタントの充電には、コクレア社製の充電機器以外は使用しないでください。

© Cochlear Limited 2010

CR100 シリーズの電源アダプタと USB ケーブルを使用して、リモートアシスタントを充電するには：

1. USB ケーブルをリモートアシスタント下部の USB ケーブルソケットに接続します。

2. USB ケーブルのもう一方の端を電源アダプタに接続します。

3. 電源アダプタをコンセントに接続します。

© Cochlear Limited 2010

コンピュータと CR100 シリーズの USB ケーブルを使用して、リモートアシスタントを充電するには：

1. USB ケーブルをリモートアシスタント下部の USB ケーブルソケットに接続します。

2. USB ケーブルのもう一方の端をコンピュータの USB ポートに接続します。

USB ケーブルをコンピュータに接続すると、「新しいハードウェアが検出されました」ウィザード（ダイアログ）が表示される場合があります。 その際、インターネットに接続している場合は、コンピュータの画面で「次へ」をクリックして、Cochlear CR110 用のソフトウェアをインストールします。

インターネットに接続していない場合は、「キャンセル」をクリックしてウィザードを終了します。

リモートアシスタントの充電中にコンピュータを休止/スタンバイ状態にしたり、コンピュータの電源を切ると、充電は中止されます。

© Cochlear Limited 2010

CP800 シリーズ 充電器と CR100 シリーズの USB ケーブルを使用して、リモートアシスタントを充電するには：

1. USB ケーブルをリモートアシスタント下部の USB ケーブルソケットに接続します。

2. USB ケーブルのもう一方の端を、充電器に接続します。

3. 充電器に 電源アダプタを接続します。

4. 電源アダプタをコンセントに接続します。

USB ケーブルを初めて充電器に接続して充電する際、「充電中」の動画がリモートアシスタントのディスプレイに表示されます。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントを充電中、リモートアシスタントの表示ランプがオレンジ色に点灯します。リモートアシスタントがフル充電されると、表示ランプが緑色の点灯となり、電池残量表示画面の電池アイコンに4本の緑色のバーが表示されます。

図4：リモートアシスタントがフル充電されたことを表示

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントを起動/停止する

リモートアシスタントを起動するには、起動画面（図6）がディスプレイに表示されるまでコクレアボタンを数秒間押し続けます。

図5：コクレアボタンを押す

図6：起動画面

リモートアシスタントを停止するには、終了画面（図7）が表示された後ディスプレイが消えるまで、コクレアボタンを数秒間押し続けます。

図7：終了画面

電池の消費量を抑えるため、リモートアシスタントのディスプレイは約25 秒後に表示が消えます。何かキーを押すと再びディスプレイ表示されます。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントの操作ボタンをロック/ロック解除する

お子さまが設定を変更してしまったり、鞄やポケットに入れて携帯する際など、誤ってボタンを押して設定を変更してしまうことがない様、リモートアシスタントの操作ボタンをロックすることができます。

操作ボタンは、リモートアシスタントのボタン操作ロックを使用してロックします。

操作ボタンをロックするには、ボタン操作ロックを下にスライドします。操作ボタンがロックされると、ロック状態を表示する画面が表示されます。この画面には、リモートアシスタントの電池残量も表示されます。操作ボタンがロックされている間は、リモートアシスタントの電源を切ることはできません。

ロックを解除するにはボタン操作ロックを上にスライドします。

図8：操作ボタンのロック/ロック解除

図9：ロックされた状態

図 10：ロック解除された状態

© Cochlear Limited 2010

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントを使用する

この章では以下について説明します：

- リモートアシスタントの表示言語の選択する方法
- リモートアシスタントをサウンドプロセッサとペア設定する方法
- リモートアシスタントの持ち方および操作
- 主な機能へのアクセス方法および実行方法
- リモートアシスタントの表示ランプとその意味

リモートアシスタントの表示言語を選択する

リモートアシスタントがサウンドプロセッサとペア設定されていない場合、リモートアシスタントの電源を入れると、言語選択画面が表示されます。この画面で使用する言語を選択します。

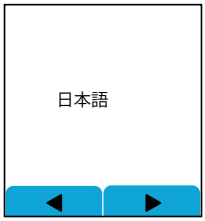


図 11：言語選択画面

言語を変更するには、左右の方向キーを使用して、左または右にスクロールします。左下と右下のソフトキーも使用できます。

言語を変更した後にリモートアシスタントをペア設定するには、送信コイルをリモートアシスタントの裏面に置きます。詳細については、次のページをご覧ください。

リモートアシスタントとサウンドプロセッサをペア設定する

リモートアシスタントは、サウンドプロセッサとペア設定すると、ペア設定されたサウンドプロセッサと通信できるようになります。両側装用の場合、リモートアシスタントは、同時に2 台までのサウンドプロセッサとペア設定することができます。

以下の場合、ペア設定を行う必要があります：

- リモートアシスタントがサウンドプロセッサとペア設定されていない場合
- 新しいサウンドプロセッサを入手した場合
- 2台目のサウンドプロセッサを入手した場合（両側装用時）
- 新しいリモートアシスタントを入手した場合
- リモートアシスタントとサウンドプロセッサのペア設定を解除した場合
- リモートアシスタントまたはサウンドプロセッサのファームウェアのバージョンが更新された場合

リモートアシスタントとサウンドプロセッサをペア設定するには：

1. サウンドプロセッサとリモートアシスタントの電源が入っていることを確認します。
2. 送信コイルを、リモートアシスタント裏面のコイルマークの位置に置きます。

図12：送信コイルをコイルマークの位置に置く

© Cochlear Limited 2010

コイルチェックとペア設定画面が表示されます。

図 13：コイルチェックとペア設定画面

3. リモートアシスタントの右下のソフトキーを押して、ペア設定します。ペア設定されると、確認画面が表示されます：

確認画面に表示される緑色のチェックマーク(✓)は、リモートアシスタントとサウンドプロセッサがペア設定されたことを表します。サウンドプロセッサが左耳用の場合、青いサウンドプロセッサのアイコンが表示されます。サウンドプロセッサが右耳用の場合、赤いアイコンが表示されます。

サウンドプロセッサを 2 台使用する（両側装用）の場合、2 と 3 を繰り返して、2 台目のサウンドプロセッサもペア設定します。

リモートアシスタントがペア設定されるとホーム画面が表示されます。

2 台目のサウンドプロセッサを1台目と同じ側でペア設定すると、1 台目のペア設定は解除され、2 台目のサウンドプロセッサをペア設定します。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントの持ち方および操作

リモートアシスタントとサウンドプロセッサの通信を最適化するには：

- リモートアシスタントを手のひらに載せて前にもってきます。

図14：リモートアシスタントを持つ

- リモートアシスタントとサウンドプロセッサの距離は 2 メートル以内に保ちます。 これ以上離れると、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの通信に時間がかかったり、通信ができない場合があります。
- リモートアシスタントは、サウンドプロセッサと同じ側（右側または左側、1 台のサウンドプロセッサと通信している場合）、または 2 台のサウンドプロセッサの間（2台のサウンドプロセッサと通信している場合）に持ちます。
- リモートアシスタントをサウンドプロセッサの方に向ける必要はありません。

リモートアシスタントがサウンドプロセッサの操作可能範囲内にあり、通信を行っている場合には、リモートアシスタントの表示ランプが青く点灯します。

© Cochlear Limited 2010

以下のいずれかの場合、青色の表示ランプが点滅し、次のアイコンがリモートアシスタントのディスプレイに表示されます：

- リモートアシスタントがサウンドプロセッサの操作可能範囲内にない。
- 電磁波干渉が発生している。
- サウンドプロセッサが使用できない（サウンドプロセッサの電源が入っていないなど）。

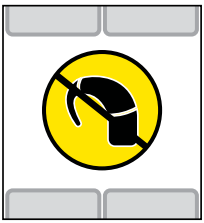


図15：リモートアシスタントが操作可能範囲にない、電磁波干渉が発生している、またはサウンドプロセッサが使用できない

電磁波干渉の原因として、以下の機器の影響が考えられます：

- 2.4 GHz のコードレスデジタル電話
- 携帯電話のハンズフリーキットやワイヤレスキーボード/マウスなどの Bluetooth 機器
- WiFi などのワイヤレス PC ネットワーク
- 2.4 GHz のワイヤレス接続機能が備わったゲーム機 器

電磁波干渉が発生した場合、以下を行ってください：

- リモートアシスタントを持つ位置を変える。
- 電磁波干渉の原因と考えられる電子機器から遠ざかる。

電磁波干渉が続く場合には、病院の先生にご連絡ください。

© Cochlear Limited 2010

シンプルモードとアドバンスモードを使用する

リモートアシスタントはシンプルモードまたはアドバンスモードで操作できます。

シンプルモード

シンプルモードでは以下の操作を行うことができます。

- リモートアシスタントの表示言語を選択する。
- リモートアシスタントとサウンドプロセッサをペア設定する。
- プログラムを選択する。
- 音量を変更する。
- マイクロホン感度を変更する。
- テレコイル/オートテレコイルのオン/オフを切り替える
- ホーム画面の表示をプログラム名からプログラム番号に変更する。
- リモートアシスタントとサウンドプロセッサの状態を表示する。
- 警告画面を表示する。
- サウンドプロセッサを病院の先生が設定した状態にリセットする。
- DEMO（デモ）モードを使用する。

アドバンスモード

アドバンスモードでは、シンプルモードの操作に加えて更に次の操作を行うことができます。

- サウンドプロセッサの設定の変更（パーソナルアラームを有効にするなど）
- リモートアシスタント設定の変更（警告画面の表示を有効にするなど）
- サウンドプロセッサのトラブルシューティング

© Cochlear Limited 2010

シンプルモードまたはアドバンスモードを選択する

リモートアシスタントは、初めて起動した際は自動的にシンプルモードになります。リモートアシスタントの電池残量表示画面が表示されているときに左上のソフトキーを押すと、アドバンスモードに切り替えることができます。

図 16：アドバンスモード (1) またはシンプルモード (2) の選択

アドバンスモードとシンプルモードを切り替えるには：

1. リモートアシスタントの電源を切り、再度起動します。
2. 電池残量表示画面が表示されたら、左上のソフトキーを押してアドバンスモードを選択するか、右上のソフトキーを押してシンプルモードを選択します。

© Cochlear Limited 2010

ホーム画面

ホーム画面では、プログラムの選択や主な機能（音量の変更など）を実行することができます。

サウンドプロセッサに設定されているプログラム数に応じて、最大 4 種類のプログラムを選択できます。プログラムは、様々な環境下でより快適な聴き取りを可能にします。

選択可能なプログラム：

- Everyday（エブリデイ）：日常生活における一般的な聴取環境に適しています。
- Noise（ノイズ）：大きな背景雑音が継続的にある環境に適しています。
- Focus（フォーカス）：背景雑音がある環境で、1人もしくは小グループの人たちの話を集中的に聴くのに適しています。
- Music(ミュージック）：様々な音源から音楽を聴く際に適しています。

リモートアシスタントを起動すると、起動画面（コクレア社のロゴ）とリモートアシスタントの電池残量が表示された後、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は、リモートアシスタントがサウンドプロセッサとペア設定されている場合にのみ表示されます。

© Cochlear Limited 2010

プログラムを選択する

プログラムを選択するには、使用したいプログラムに対応するソフトキーを押します。たとえば、Noise（ノイズ）を使用したい場合には、左下のソフトキーを押します（図 17 ）。

図 17：ソフトキー：ホーム画面でプログラムを選択

© Cochlear Limited 2010

ホーム画面には、現在選択されているプログラムを表すアイコンが表示されます。たとえば、Everyday（エブリディ）が選択されていると、Everyday（エブリディ）のアイコンが表示されます。

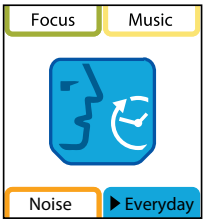


図 18：Everyday（エブリディ）が表示されているホーム画面

コクレアボタンを押すと、いつでもホーム画面に戻ることができます。

テレコイルを起動したり、サウンドプロセッサにアクセサリを接続すると、アイコンがプログラムのアイコンの横に表示されます。

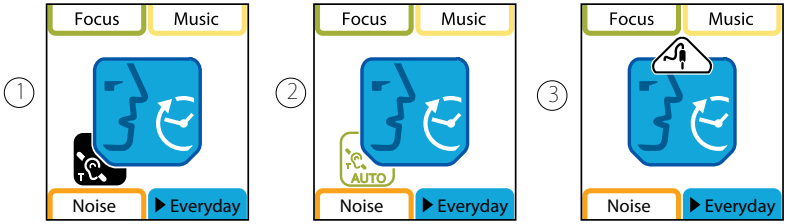


図19：テレコイル（1）、オートテレコイル（2）、アクセサリ（3）を表すアイコンが表示されているホーム画面

プログラム名とプログラム番号を切り替える

プログラム番号を表示させたい場合（Freedom™ サウンドプロセッサを使用していた場合など）は、ホーム画面で左上と右上のソフトキーを 同時に押し続けると、プログラム名が番号で表示されます（たとえば、サウンドプロセッサでEveryday（エブリデイ）とNoise（ノイズ）しか設定されていない場合、2 つのプログラム名がプログラム番号 1 と 2 に変わります）。

プログラム名の表示に戻すには、プログラム名が表示されるまで左上と右上のソフトキーを同時に押し続けます。

© Cochlear Limited 2010

音量を調整する

音量は、聞こえる音の大きさを調節する機能で、以下の調整を行うことができます：

- マイクロホン、テレコイル、アクセサリからの音声が不快に感じるほど大きく聞こえるときは、音量を下げる：
- 自分の声を含め、マイクロホン、テレコイル、アクセサリの音声が小さすぎてよく聞こえないときは、音量を上げる。

現在のプログラムの音量を上げるには、ホーム画面で上方向キーを押します。

音量を下げるには、ホーム画面で下方向キーを押します。

図20：音量を上げる方向キー（1）と音量を下げる方向キー（2）

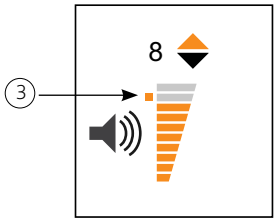


図 21：音量の初期設定レベルを表すオレンジ色のマーク（3）

音量のレベルは 1 ～ 10 の間で調整できます。音量レベルメータに表示されるオレンジ色のマーク（3）は、初期設定レベル（病院の先生が設定したレベル）を表しています。初期設定レベルに戻したいときには、このマークが示すレベルに設定します。

© Cochlear Limited 2010

マイクロホン感度を調整する

マイクロホン感度は、マイクロホンが拾う最も小さい音のレベルを調整する機能で、以下の調整を行うことができます：

- 騒音下で背景雑音を低減するために、感度を下げる。
- 静かな環境下で小さな音声を聞きやすくするために、感度を上げる。

現在のプログラムの感度を上げるには、ホーム画面で右方向キーを押します。

感度を下げるには、ホーム画面で左方向キーを押します。

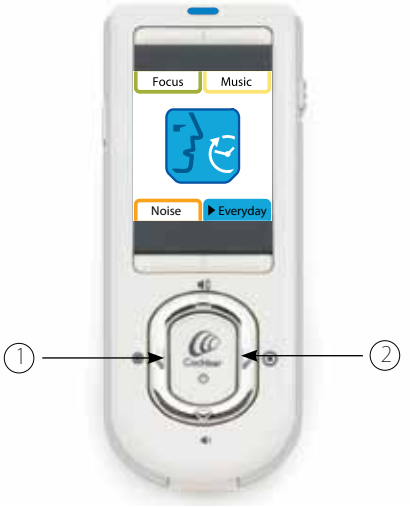


図22：感度を下げる方向キー（1）と感度を上げる方向キー（2）

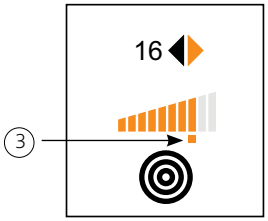


図 23：感度の初期設定レベルを表すオレンジ色のマーク

© Cochlear Limited 2010

感度レベルは 0 ～ 20 の間で調整できます。感度レベルメータに表示されるオレンジ色のマーク (3) は、初期設定レベル (病院の先生が設定したレベル) を表しています。初期設定レベルに戻すには、このマークが示すレベルに設定します。

音量と感度を固定する

病院の先生は、音量と感度を固定することもできます。音量と感度を固定すると、リモートアシスタントでは変更することはできません。

サウンドプロセッサの状態を確認する

リモートアシスタントを使用して、サウンドプロセッサが正常に機能しているかどうかを確認することができます。また、サウンドプロセッサの電池残量や、マイクロホン、テレコイル、アクセサリからの音声入力のレベルを確認することもできます。音声の入力が複数個所から行われている場合 (アクセサリとマイクロホンを両方使用している場合など) は、これらをあわせた入力レベルが表示されます。

サウンドプロセッサの状態を表示するには、ホーム画面でコクレアボタンを押します。状態確認画面は、リモートアシスタントがサウンドプロセッサとペア設定されている場合にのみ表示されます。

サウンドプロセッサが正常に機能していれば、状態確認画面に緑色のサウンドプロセッサのアイコンが表示されます。

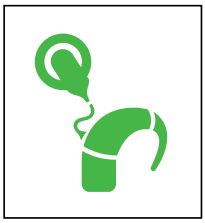


図 24 : サウンドプロセッサが正常に機能している状態

© Cochlear Limited 2010

何らかの不具合（送信コイルエラーなど）を受信した場合、警告画面が表示されます。

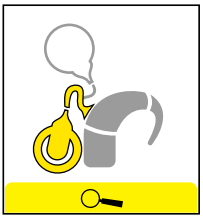


図25：送信コイルが外れていることを示す警告画面

警告画面が表示された場合、下のソフトキーのどちらかを押すと、その不具合の詳細と対処方法を確認することができます。まず状態確認画面が表示されてから、電池残量と音声入力している箇所が表示されます。

この画面には、現在のサウンドプロセッサの電池残量と音声入力レベルが表示されます。電池アイコンに表示される緑色のバーの数が多いほど、サウンドプロセッサの電池残量が多いことを表します。音声入力レベルには、現在の音声の入力状態が表示されます。音声入力レベル横のアイコンは、音声を入力している箇所（マイクロホンなど）を表します。

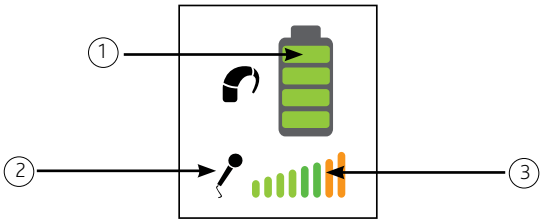


図 26：サウンドプロセッサの電池残量（1）、音声入力している箇所（2）、音声入力レベル（3）

© Cochlear Limited 2010

スタンダード型電池モジュール（空気亜鉛電池）を使用している場合、最初の 10 分間は電池残量表示画面に砂時計のアイコンが表示されます。これはサウンドプロセッサが電池残量を確認していることを表します。

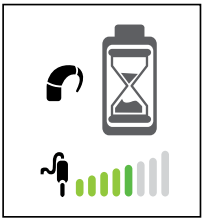


図 27：サウンドプロセッサが電池残量を確認中

テレコイルを使用する

サウンドプロセッサにはテレコイルが内蔵されています。テレコイルは電話機を使用したり、室内に設置された磁気ループまたはネックループを使用する際に、背景雑音を軽減するのに役立ちます。テレコイル機能を使用するには、あらかじめ病院の先生に設定してもらう必要があります。

テレコイルが有効に設定されている場合、リモートアシスタントの切り替えボタンを押すとテレコイルをオンにすることができます。テレコイルがオンになると、ホーム画面のプログラムアイコンの横にテレコイルのアイコンが表示されます。

テレコイルをオフにするには、再度切り替えボタンを押します。テレコイルのアイコンがホーム画面から消えます。

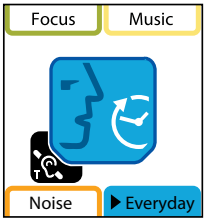


図28：Everydayでテレコイルがオン

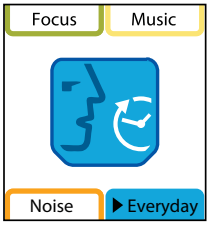


図 29：Everydayでテレコイルがオフ

© Cochlear Limited 2010

オートテレコイルを使用する

オートテレコイル機能を使用するには、あらかじめ病院の先生に設定してもらう必要があります。オートテレコイルを有効にすると、電話機を使用したり磁気ループが設置された室内に入った際に、テレコイルが自動的にオンになります。テレコイルは以下の場合に自動的にオフになります。:

- 電話機をサウンドプロセッサから離す（通話の終了時など）。
- 室内に設置された磁気ループ環境から出る。

テレコイルのアイコンの表示が消えるまで最大 10 秒程かかる場合があります。

オートテレコイルを有効にするには、オートテレコイルのアイコンがホーム画面に表示されるまで、リモートアシスタントの切り替えボタンを数秒間押し続けます。電話機での通話を開始すると、オートテレコイルのアイコンが黒にかわり、テレコイルの使用中（テレコイルがオン）であることを示します。

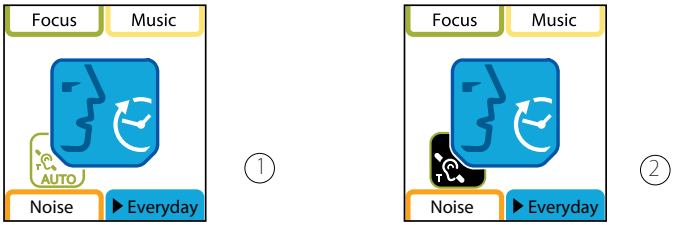


図 30：オートテレコイルが有効（1）とテレコイル使用中（2）

オートテレコイルからテレコイルに切り替える

オートテレコイルからテレコイルに切り替えるには、切り替えボタンを押します。テレコイルに切り替わると、テレコイルのアイコンがホーム画面に表示されます。テレコイルをオフにするには切り替えボタンをもう一度押します。

アクセサリを起動/停止する

サウンドプロセッサに接続したアクセサリを起動/停止するには、リモートアシスタントの切り替えボタンを押します。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントの表示ランプについて

リモートアシスタントの表示ランプは、状況に応じて以下のように点灯/点滅します：

表示ランプ	意味
青色の点灯	サウンドプロセッサがリモートアシスタントの操作可能範囲内にあり、リモートアシスタントとサウンドプロセッサが通信しています。
青色の点滅	サウンドプロセッサがリモートアシスタントと通信していません（操作可能範囲内にない、ペア設定されていないなど）。
オレンジ色の点滅	• 警告画面に何らかの不具合が表示されています（送信コイルエラーなど）。 • リモートアシスタントの電池残量が少ない、または電池切れです。 • リモートアシスタントのファームウェアの更新が必要な可能性があります。
オレンジ色の点灯	リモートアシスタントを充電しています。
緑色の点灯	リモートアシスタントがフル充電されました。

© Cochlear Limited 2010

サウンドプロセッサをリセットする

サウンドプロセッサの設定を誤って変更してしまった場合、または病院の先生が設定した状態に戻したい場合、サウンドプロセッサをリセットすることができます。

病院の先生が設定した状態に戻すには：

1. ホーム画面で左下と右下のソフトキーを同時に数秒間押し続けます。リセット画面が表示されます。
2. 右下のソフトキーを押してサウンドプロセッサのリセットを確定します。

図 31：サウンドプロセッサのリセット画面

リセットボタンを使用する

コクレアボタンが機能しなくなったり、ディスプレイの表示が変わらなくなった場合は、リモートアシスタントの裏面にあるリセットボタンを押すとリセットすることができます。

図32：リモートアシスタントのリセットボタン

© Cochlear Limited 2010

両側装用時の操作

両側装用の場合、リモートアシスタントを 2 台のサウンドプロセッサとペア設定することができます。ペア設定すると、2台のサウンドプロセッサを同時に操作することができます。

リモートアシスタントが 2台のサウンドプロセッサとペア設定されている時は、以下の画面でディスプレイが縦に 2 分割表示されます：

- ホーム画面
- 状態確認画面
- 警告画面

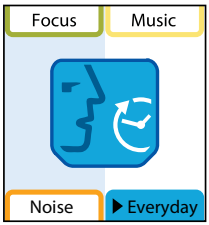


図 33：両側装用時の操作モードのホーム画面

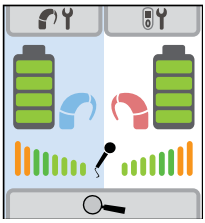


図 34：両側装用時の操作モードの電池残量表示画面

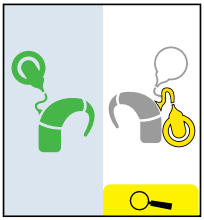


図 35：両側装用時の操作モードの警告画面

© Cochlear Limited 2010

ホーム画面では、3 種類ある両側装用時の操作モードのいずれかを選択できます：

- 同時操作モード：両方のサウンドプロセッサを同時に操作します。

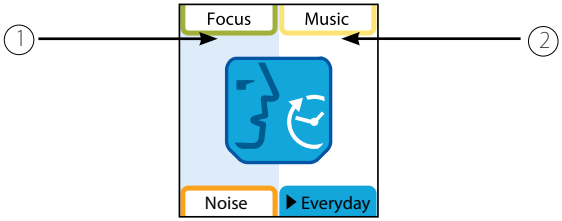


図36：同時操作モード：左耳用 (1) と右耳用 (2) の両方を同時に操作

- 左操作モード*：左耳用のサウンドプロセッサのみを操作します。

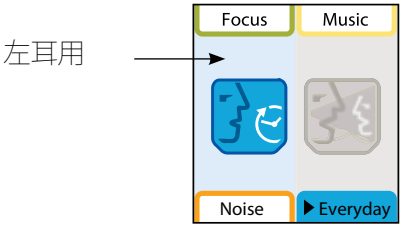


図37：左操作モード

- 右操作モード*：右耳用のサウンドプロセッサのみを操作します。

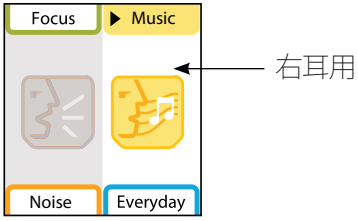


図38：右操作モード

* アドバンスモード時のみ選択可能。

© Cochlear Limited 2010

同時操作モード

2 台のサウンドプロセッサとペア設定すると、リモートアシスタントは自動的に同時操作モードになります。

同時操作モードでは、2台のサウンドプロセッサを同時に操作することが可能です：

- プログラムを変更する。
- 音量/感度を調整する。
- テレコイルをオンにする/オートテレコイルを有効にする。
- アクセサリを接続する。

これらの設定を変更するには、2台のサウンドプロセッサの電源が入っていて、リモートアシスタントがサウンドプロセッサの操作可能範囲内になければなりません。

サウンドプロセッサの設定（テレコイルとマイクロホンのミキシング比など）を変更すると、操作モードに関係なく、変更内容が両方のサウンドプロセッサに適用されます。

右または左操作モード

状況に応じて、片方のサウンドプロセッサの設定のみを変更したい場合があります。たとえば：

- 左耳用サウンドプロセッサのみテレコイルまたはオートテレコイルを使用したい。
- 右耳用サウンドプロセッサのみ音量または感度を調整したい。

© Cochlear Limited 2010

操作モードを切り替える

操作モードを切り替えるには、左または右方向キーを数秒間押し続けます。

図39：同時操作モードから左操作モードに切り替える

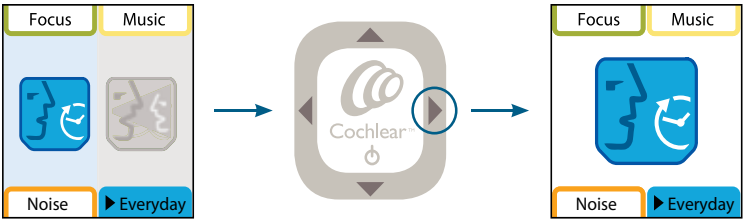


図40：左操作モードから同時操作モードに切り替える

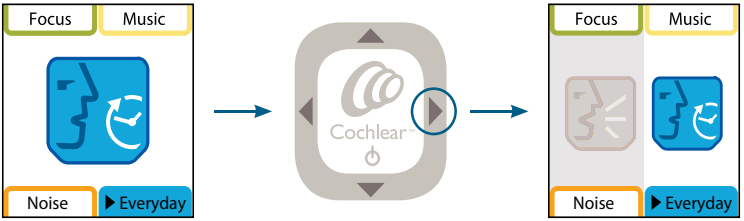


図41：同時操作モードから右操作モードに切り替える

© Cochlear Limited 2010

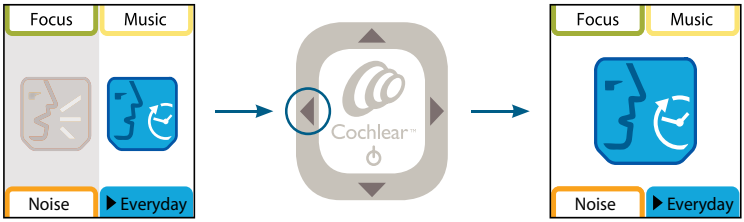


図42：右操作モードから同時操作モードに切り替える

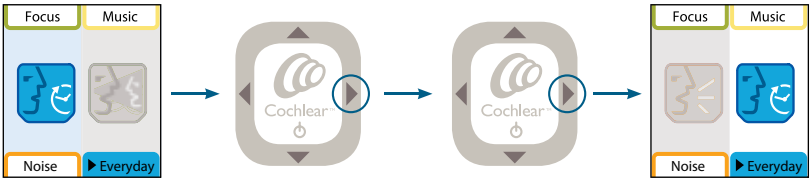


図43：左操作モードから右操作モードに切り替える

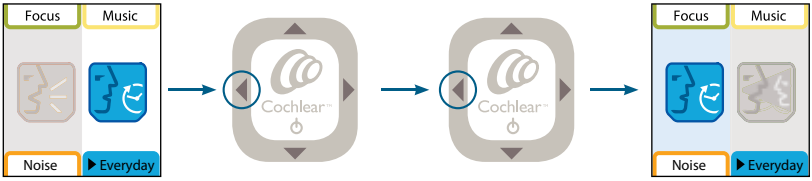


図44：右操作モードから左操作モードに切り替える

© Cochlear Limited 2010

© Cochlear Limited 2010

設定を変更する

聴取のニーズに合わせて、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの設定を変更することができます。サウンドプロセッサの設定は、サウンドプロセッサの電源が入っており、操作可能範囲内にある場合にのみ変更することができます。リモートアシスタントが 2 台のサウンドプロセッサとペア設定されている場合、両方のサウンドプロセッサの電源が入っており、かつ操作可能範囲内になければなりません。

設定は、リモートアシスタントをアドバンスモードで操作している場合にのみ変更できます。

サウンドプロセッサまたはリモートアシスタントの設定を変更するには：

1. ホーム画面でコクレアボタンを押します。状態確認画面が表示されます。
2. サウンドプロセッサの設定メニューを表示するには、左上のソフトキーを押します。リモートアシスタントの設定メニューを表示するには、右上のソフトキーを押します。

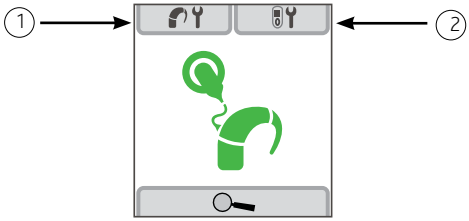


図45：サウンドプロセッサの設定メニュー (1) とリモートアシスタントの設定メニュー (2)

3. サウンドプロセッサまたはリモートアシスタントの設定を変更するには、設定したい項目の画面が表示されるまで下方向キーを押します。

サウンドプロセッサの設定変更は、選択されているプログラムに関係なく、全てのプログラムに適用されます。リモートアシスタントを 2 台のサウンドプロセッサとペア設定すると、両方のサウンドプロセッサに適用されます。

サウンドプロセッサの設定を変更する

サウンドプロセッサの以下の設定を変更できます：

- 操作ボタンのロック/ロック解除
- テレコイルとマイクロホンのミキシング比
- アクセサリとマイクロホンのミキシング比
- 表示ランプ機能の設定
- パーソナルアラームのオン/オフ

操作ボタンをロック/ロック解除する

お子さまが誤って設定を変更してしまったり、不注意でボタンを押してサウンドプロセッサの設定を変更してしまうことを避けるため、サウンドプロセッサの2つのボタンをロックすることができます。

図46：ボタンがロック解除された状態

図 47：ボタンがロックされた状態

ボタンをロックするには、ロック/ロック解除画面で右下のソフトキーを押します。ロック解除するには、左下のソフトキーを押します。

テレコイルとマイクロホンのミキシング比を変更する

ミキシング機能により、複数の音声入力（テレコイルとマイクロホンなど）を組み合わせることができます。

テレコイルとマイクロホンのミキシング比は、マイクロホンからの音声入力に対するテレコイルからの音声入力の比を指定します。背景音声を抑えてテレコイルからの音声を集中して聴きたい場合は、ミキシング比を上げます。テレコイル使用中にもっと背景音を聴きたい場合は、ミキシング比を下げます。

© Cochlear Limited 2010

テレコイルとマイクロホンのミキシング比は、以下のいずれかに設定できます。

- **1:1** (テレコイルからの入力 50% ：マイクロホンからの入力 50%)
- **2:1** (テレコイルからの入力 67% ：マイクロホンからの入力 33%)
- **3:1** (テレコイルからの入力 75% ：マイクロホンからの入力 25%)
- **4:1** (テレコイルからの入力 80% ：マイクロホンからの入力 20%)
- **5:1** (テレコイルからの入力 83% ：マイクロホンからの入力 17%)
- **6:1** (テレコイルからの入力 86% ：マイクロホンからの入力 14%)
- **100%** テレコイルから入力

テレコイルからの音声入力を 100% に設定すると、ミキシング比表示画面に「T」の文字が表示されます。

テレコイルからの音声を集中して聴きたい場合は、ミキシング比表示画面で左下のソフトキーを押します。背景音声をもっと聴きたい場合は、右下のソフトキーを押します。

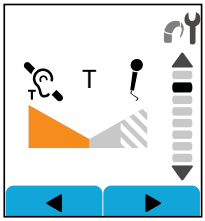


図 48：「T」はテレコイル入力 100% を示す

アクセサリとマイクロホンのミキシング比を変更する

アクセサリとマイクロホンのミキシング比は、マイクロホンからの音声入力に対するアクセサリからの音声入力の比を指定します。背景音声を抑えてアクセサリからの音声を集中して聴きたい場合は、ミキシング比を上げます。アクセサリの使用中に背景音声をもっと聴きたい場合は、ミキシング比を下げます。

© Cochlear Limited 2010

アクセサリとマイクロホンのミキシング比は、以下のいずれかに設定できます。

- **1:1** (アクセサリからの入力 50% ：マイクロホンからの入力 50%)
- **2:1** (アクセサリからの入力 67% ：マイクロホンからの入力 33%)
- **3:1** (アクセサリからの入力 75% ：マイクロホンからの入力 25%)
- **4:1** (アクセサリからの入力 80% ：マイクロホンからの入力 20%)
- **5:1** (アクセサリからの入力 83% ：マイクロホンからの入力 17%)
- **6:1** (アクセサリからの入力 86% ：マイクロホンからの入力 14%)
- **100%** アクセサリからの入力

アクセサリからの音声入力を100% に設定すると、ミキシング比表示画面に「A」の文字が表示されます。

アクセサリからの音声を集中して聴きたい場合は、ミキシング比表示画面で左下のソフトキーを押します。背景音声をもっと聴きたい場合は、右下のソフトキーを押します。

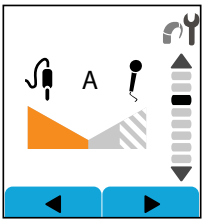


図 49：「A」はアクセサリ入力 100% を示す

表示ランプ機能の設定を行う

サウンドプロセッサの表示ランプは、サウンドプロセッサの設定を変更した場合、またはサウンドプロセッサに問題が発生した場合、それを光で視覚的にお知らせします。

サウンドプロセッサの設定メニューでは、表示ランプ機能の設定を行うことができます。サウンドプロセッサが音声を受信していることを視覚的に確認できるようにするには、「音声正常」を表す表示ランプ機能をオンに設定します。設定の変更やサウンドプロセッサの問題を視覚的に確認できるようにするには、「警告とキー操作」を表す表示ランプ機能をオンに設定します。

© Cochlear Limited 2010

表示ランプ機能の設定を行うには：

1. 表示ランプ機能の設定画面を選択します（「警告とキー操作」の表示ランプ機能設定画面など）。
2. 表示ランプ機能をオンに設定するには、右下のソフトキーを押します。設定をオフにするには、左下のソフトキーを押します。

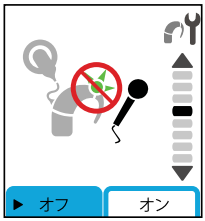


図 50：「音声正常」がオフ

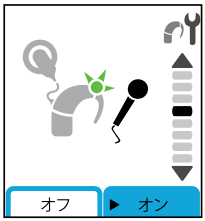


図 51：「音声正常」がオン

図 52：「警告とキー操作」がオフ

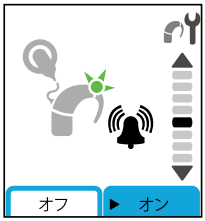


図 53：「警告とキー操作」がオン

© Cochlear Limited 2010

パーソナルアラームをオン/オフにする

パーソナルアラームとは、設定を変更したりサウンドプロセッサに何らかの不具合が発生した場合に装用者のみに聞こえるアラーム機能です。アラームが鳴るようにするには、パーソナルアラームをオンに設定します。アラームが鳴らないようにするには、オフに設定します。

パーソナルアラームをオンにするには、パーソナルアラーム設定画面で右下のソフトキーを押します。オフにするには、左下のソフトキーを押します。

図54：パーソナルアラームがオン

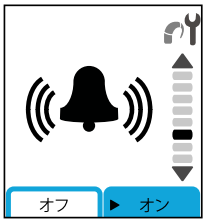


図55：パーソナルアラームがオフ

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントの設定を変更する

状況に応じて、以下のリモートアシスタントの設定を変更できます：

- スピーカの音量
- 警告音/警告画面の表示
- 表示言語

リモートアシスタントの音量を調整する

リモートアシスタントの警告画面表示やキー操作時の音量を調整することができます。

リモートアシスタントの音量を上げるには、右下のソフトキーを押します。 音量を下げるには、左下のソフトキーを押します。

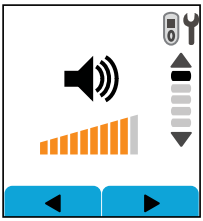


図56：リモートアシスタントの音量画面

警告音/警告画面をオン/オフにする

リモートアシスタントの警告設定がオンになっていると、（送信コイルが外れているなど）問題が発生した際に、リモートアシスタントのディスプレイに警告画面が自動的に表示され、警告音が鳴ります。

警告設定がオフの場合、サウンドプロセッサの状態確認画面に入ると、警告画面のみ確認することができます。電池の消費量を抑えるため、リモートアシスタントがスタンバイモードになっている場合は警告画面は表示されません。警告設定がオフの場合でも、問題がある場合にはオレンジ色の表示ランプが点滅します。

警告設定をオンにするには、警告設定画面で、右下のソフトキーを押します。警告をオフにするには、左下のソフトキーを押します。

© Cochlear Limited 2010

図 57：リモートアシスタントの警告音と警告画面がオフ

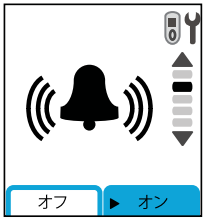


図 58：リモートアシスタントの警告音と警告画面がオン

© Cochlear Limited 2010

DEMO（デモ）モード

実際にリモートアシスタントを使用してサウンドプロセッサと通信する前に、デモモードを利用してリモートアシスタントの機能を学ぶことができます。

両側装用時（サウンドプロセッサを 2 台使用）のアドバンスモードの機能と、一側装用時（サウンドプロセッサを 1 台使用）のシンプルモードの機能を試すことができます。デモモードでは、警告画面を表示したりアクセサリを接続することはできません。

リモートアシスタントがすでにサウンドプロセッサとペア設定されている場合にデモモードにするには：

1. ホーム画面で右上のソフトキーと左下のソフトキーを同時に数秒間押し続けます。デモモードの画面が表示されます。
2. 両側装用時のアドバンスモードの機能を選択するには、左下のソフトキーを押します。一側装用時のシンプルモードの機能を選択するには、右下のソフトキーを押します。

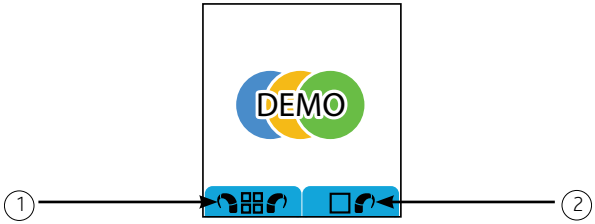


図 59：両側装用時のアドバンスモードの機能（1）
または一側装用時のシンプルモードの機能（2）

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントがペア設定されていない場合にデモモードにするには、ペア設定画面で右上と左下のソフトキーを同時に数秒間押し続けます。リモートアシスタントがペア設定されていない時にコクレアボタンを押すと、ペア設定画面が表示されます。

図 60：ペア設定画面

デモモード中は、すべての画面で「Demo」という文字が表示されます。リモートアシスタントの表示ランプは緑、青、オレンジ色に点滅します。

デモモードを終了するには、リモートアシスタントの電源を切り、再度起動します。

15 分経過するか、リモートアシスタントのペア設定を開始すると、自動的にデモモードを終了します。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントのお手入れ

リモートアシスタントを保護する

リモートアシスタントを衝撃や傷から保護するため、保護用のケースを使用することをお勧めいたします。コクレア社では以下のケースやカバーをご用意しております：

- Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ レザーケース：リモートアシスタントをレザーケースに入れ、ベルトに取り付けることができます。 レザーケースの位置は、ベルト上で回転させて調節することができます。リモートアシスタントを使用する際にはレザーケースから取り出します。

図61：リモートアシスタント用レザーケース

- Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ レザーカバー：レザーカバーを使用すると、リモートアシスタントをベルトに取り付けたり、ハンドバッグやポケットに入れて携帯する際に便利です。レザーカバーに入れたまま、リモートアシスタントを使用したり充電することができます。

図62：リモートアシスタント用レザーカバー

- Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ 保護カバー：柔軟性に優れたリモートアシスタント用ゴム製カバーです。お子さまにも成人の方にもご使用いただけ、カバーの色をお選びいただけます。リモートアシスタントのストラップを使用して、保護カバーを付けた状態で首にかけることもできます。また、保護カバーを付けたまま、リモートアシスタントを使用したり充電することができます。

図63：リモートアシスタント用保護カバー

リモートアシスタントを保護カバーを付けたまま使用すると、操作可能範囲がわずかに縮小する場合があります。この場合、リモートアシスタントを保護カバーから取り出して使用するか、リモートアシスタントをサウンドプロセッサに近づけてご使用ください。

リモートアシスタントをベルトに装着する際は、腕の位置（歩行時に腕がベルトの後ろまでくる様な場合など）によっては通信に影響する可能性があります。この場合、リモートアシスタントをケースから取り出してご使用ください。

リモートアシスタントのストラップを使用する

Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ ストラップを使用すると、リモートアシスタントを首にかけることができます。

ストラップは、リモートアシスタントの裏面にある穴に通します。ストラップのループ部分を下の穴（識別用シールの上の穴）に通します。

© Cochlear Limited 2010

ストラップを取り付けるには：

1. リモートアシスタントを片手で持ちます。
2. もう一方の手の親指と人差し指で、ストラップのループ部分を下の穴に通します。

3. ループ部分にストラップを通します。

4. ストラップを上に引っ張ります。

本説明書に記載されている構成部品は、お住まいの国によってはご利用いただけない場合があります。詳細は病院の先生にご確認ください。

リモートアシスタントを水による損傷から保護する

リモートアシスタントは、直径 1.0 mm を超える固形異物の侵入および水の飛沫から内部を保護されています（保護等級 IP 44）。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントを清掃する

ディスプレイと操作ボタンを乾いた柔らかい布で拭いて、清潔な状態に保つよう心がけてください。リモートアシスタントの清掃に、アルコール類、家庭用クリーナー、研磨材などは使用しないでください。

図64：リモートアシスタントを乾いた柔らかい布で拭く

レザーケース、レザーカバー、保護カバーが汚れてきたら、乾いた柔らかい布で拭きます。

リモートアシスタントが濡れた場合：

1. リモートアシスタントの電源を切ります。
2. 乾いた柔らかい布で拭きます。
3. リモートアシスタントを約 12 時間乾燥させます。リモートアシスタントを乾燥させるために、乾燥保管システムドライ&ストアは使用しないでください。また、加熱調理器具（オーブンや電子レンジなど）等も使用しないでください。

乾燥させた後、リモートアシスタントの電源を入れて正常に機能するか確認してください。リモートアシスタントが正常に機能しない場合、病院の先生にご連絡ください。水によって損傷を受けた部品は修理できない場合があります。

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントの使用に関する一般的な警告と注意事項

- リモートアシスタント用のケーブル類を本来の目的以外の方法で使用すると（USB ケーブルを首に巻くなど）、怪我をする恐れがあります。
- 機械などの操作中に、リモートアシスタントのストラップがその機械に巻き込まれないようにご注意ください。
- リモートアシスタントが異常に熱くなった場合は、すぐに使用を中止して、病院の先生にご連絡ください。
- 車の運転中はリモートアシスタントを使用しないでください。
- リモートアシスタントを直射日光に当たる場所、窓際、車内など、極端に暑くなる場所に放置しないでください。
- リモートアシスタントを湿気や埃が極端に多い場所（スイミングプールなど）に放置しないでください。
- リモートアシスタントをバッグやポケットに入れる際には、ディスプレイを傷付けないようご注意ください。傷から保護するために、市販の保護フィルム等を利用することもできます。
- リモートアシスタントを充電する場合は、CR100 シリーズ 電源アダプタまたは CP800 シリーズ 電源アダプタ（CP800 シリーズ 充電器使用時）以外は使用しないでください。
- リモートアシスタントをリモートアシスタント USB ケーブルに接続する際には、無理に押し込まないでください。
- ディスプレイ、操作ボタン、リモートアシスタントの裏面を過度に強く押さないでください。
- リモートアシスタントは絶対に曲げないでください。
- リモートアシスタントを開けたり分解しないでください。リモートアシスタントが正常に機能しない場合は、病院の先生にご連絡ください。
- リモートアシスタントを使用しない時は、電源を切って安全な場所に保管してください。
- 電子部品はお住まいの地域の規則に従って処分してください。

© Cochlear Limited 2010

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントを使用してサウンドプロセッサのトラブルシューティングを行う

リモートアシスタントの以下の機能は、サウンドプロセッサのトラブルシューティングに役立ちます。

- ディスプレイに表示される警告画面

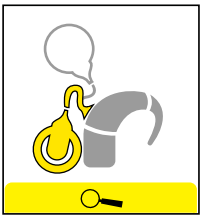


図65：送信コイルが外れている状態を示す警告画面

- サウンドプロセッサの状態を表す表示ランプ
- リモートアシスタントをアドバンスモードで使用する際に表示することができる、サウンドプロセッサのトラブルシューティングガイド。状態確認画面が表示された状態で、左下か右下のソフトキーのいずれかを押すと、トラブルシューティングガイドが表示されます。

トラブルシューティングの詳細については、ドキュメントパックに同封されている『CP810 およびCR110 トラブルシューティングガイド』をご参照ください。

サウンドプロセッサの送信コイルを点検する

リモートアシスタントにはコイルセンサが内蔵されています。このコイルセンサを使用して、サウンドプロセッサに接続されている送信コイルが、サウンドプロセッサから音声信号を受信しているか確認することができます。

コイルセンサを使用して送信コイルを点検するには：

1. 送信コイルを頭部から外します。送信コイルを頭部に装着した状態でコイルセンサを使用しないでください。
2. 送信コイルを、リモートアシスタント裏面のコイルマークの位置に置きます。

送信コイルがサウンドプロセッサの音声信号を受信している場合には、コイルチェックとペア設定画面が表示されます。これは、送信コイルが音声信号を受信していることを示すものであり、送信コイルが正常に機能していることを示すものではありません。

この画面は、送信コイルが音声信号を受信していないと表示されません。

送信コイルをリモートアシスタントから離すと元の画面に戻ります。

© Cochlear Limited 2010

その他の情報

保証書および登録カード

保証書は、サウンドプロセッサと共に提供されるドキュメントパックに同封されています。

製品の受領から 30 日以内に、必要事項を記入の上、登録カードをコクレア社までご返送ください。

技術情報

リモートアシスタントのワイヤレス通信は、GFSK（ガウス型周波数偏移変調）を10 個のチャンネルで用いて、2.4 GHz ISM 帯域で行います。この接続には独自の双方向通信プロトコルが使用され、CP810 サウンドプロセッサから 2 メートル以内の距離で操作できます。電磁波干渉が発生した場合、ワイヤレス通信は 10 チャンネルの中で、もっとも干渉の影響が低いものに切り替わります。サウンドプロセッサが操作範囲内にない、あるいは電磁波干渉によって通信が妨害された場合、リモートアシスタントのディスプレイと表示ランプがこれを知らせます。詳細は、本取扱説明書の*『リモートアシスタントの持ち方および操作』*をご参照ください。

仕様

物理構成

リモートアシスタントは以下で構成されています：

- カスタムアナログおよびデジタル集積回路：マイクロサウンドプロセッサ設計に基づいており、双方向ワイヤレス通信機能を備えています。
- ボタン/キーおよび切り替えスイッチ：サウンドプロセッサやリモートアシスタントを操作するために使用します。
- ディスプレイ：システムの状態と動作が表示されます。
- スピーカ：アラーム音を発生します。
- 内蔵コイルセンサ：送信コイルがサウンドプロセッサから音声信号を受信しているかどうか確認するために使用します。

- 表示ランプ：システムの機能や警告を視覚的に知らせます。
- 内蔵電池充電用回路
- 温度センサ：電池の安全性を向上させます。
- ミニタイプ B USB コネクタ：機器の充電用です。

材質

リモートアシスタントの本体（金属以外のボタン/キーを含む）はポリカーボネートです。側面部分と金属のボタン/キーは、クロムメッキステンレススチールです。

寸法

長さ	幅	奥行き
110 mm	45 mm	12 mm

重量

約 64 g

動作特性

特性	範囲
ワイヤレス技術	独自の低電力双方向ワイヤレスリンク
無線周波数	2.4 GHz
電池の動作電圧	3 V ～ 4.2 V
電池の充電電圧	4.5 V ～ 5.5 V
電池容量	680 mAh（内蔵リチウムイオン電池）
ボタン/キー機能	リモートアシスタントの起動/停止、テレコイルのオン/オフ、オートテレコイルの有効/無効、アクセサリの起動/停止、プログラムの変更、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの設定変更
ワイヤレス通信の範囲	最大 2 メートル

© Cochlear Limited 2010

特性	範囲
ディスプレイ	128 x 128 ピクセル、1.5 インチバックライトカラー LCD

環境条件

状態	最低	最大
保管温度	-40 ºC	+50 ºC
保管相対湿度	0% RH	90% RH
動作温度	+5 ºC	+50 ºC
動作相対湿度	0% RH	90% RH

認可と適合基準

CR110 リモートアシスタントは、EC Directive 2007/47/EEC によって最終修正された、Active Implantable Medical Devices 中の EC Directive 90/385/EECのAnnex 1 に記載された必要条件を満たしています。本製品はNotified Body 0197 により2009 年にAnnex 2に従ってCE-Mark の認可を受けています。

CE 0197

機器の分類

本リモートアシスタントは、内部電源機器タイプBに分類されます（国際規格IEC 60601-1:1988 + A1:1991 + A2:1995 - 医用電気機器ー第1部：安全に関する一般的要求事項）。

リモートアシスタントの保護等級（IP等級）

リモートアシスタントの保護等級は、*「リモートアシスタントのお手入れ」の章で説明しています。*

© Cochlear Limited 2010

連邦通信委員会 (FCC) とカナダ IC コンプライアンス

本機器は FCC 規定パート 15、ならびにカナダ産業省の RSS-210 に準拠しています。本機器の使用は、以下の 2 つの項目を条件としています：

- 本機器によって有害な干渉が発生しないこと。
- 本機器が外部からの干渉を許容すること（望ましくない動作の原因となるものも含む）。

コクレア社からの明示的な承認を得ずに、本機器を改造または修正した場合は、本機器を使用するための FCC 認可が無効となる可能性があります。

本機器は FCC 規定パート 15 に従って、クラス B デジタル機器に課せられる制限に準拠していることが試験によって証明されています。これらの制限は、本機器を住宅地域で使用した際に有害な干渉が発生しても、適度な保護が受けられるよう設けられています。本機器は、無線周波数エネルギーを生成・使用するほか、これを放射する可能性があります。説明書の指示に従って設置・使用しないと、無線通信に対して有害な干渉を引き起こす原因となります。また、特定の方法で設置した場合に、妨害が生じないという保証はありません。本機器の電源をオン/オフにすることによって、ラジオやテレビ受信機が有害な干渉を受ける原因となっていると判明した場合には、以下の方法のいずれかで干渉を取り除くことを推奨します。

- 受信アンテナの向きや場所を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは別のコンセントに本機器を接続する。
- 販売店や、ラジオ/テレビの技術者に相談する。

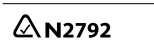
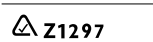
FCC ID番号：WTOCR11000

IC ID番号：8039A-CR11000

© Cochlear Limited 2010

サウンドプロセッサの各構成部品および外箱には、下表の記号が表示されています：

記号	意味
	取扱説明書を参照
	警告や注意について関連説明書を参照
	壊れ物
	保管温度制限
	相対湿度制限
IP57	保護等級 直径が 1.0 mm を超える固形異物の侵入、一時的な浸水、および埃の侵入から内部を保護されています。
IP44	保護等級 直径が 1.0 mm を超える固形異物の侵入および水の飛沫から内部を保護されています。
	CE 登録マーク
	機器の処分 - 焼却処分禁止

	機器の処分 – 電気部品は各地域の規制に従って処分する必要あり。
	技適マーク - 日本
	認可 - オーストラリア
	認可 - ニュージーランド
	FCC 基準に準拠することが試験で証明
SN	シリアル番号
	製造日
	タイプ B 機器
Rx Only	要処方。本機器の販売は、医師の指示によって行わなければなりません。
	• ミックス品 – 厳重に管理された資源、および他の管理された資源を用いた製品グループです。 • FSC 認証は段ボールによる梱包にのみ適用されます。
	リサイクル
CP810 サウンドプロセッサ Cochlear Limited 14 Mars Road, Lane Cove NSW 2066, Australia Made in Australia	サウンドプロセッサの製品ラベル情報
CR110 リモートアシスタント Cochlear Limited 14 Mars Road, Lane Cove NSW 2066, Australia Made in China	リモートアシスタントの製品ラベル情報

© Cochlear Limited 2010

法的事項

本説明書の記述は発行時において事実であり、かつ正確です。仕様は予告なく変更される可能性があります。

Nucleus® 人工内耳システムは一つまたは複数の国際特許によって保護されています。

© Cochlear Limited 2010

© Cochlear Limited 2010

用語集

アドバンスモード	リモートアシスタントのすべての機能が使用可能なモード。
両側装用時の操作	リモートアシスタントが2 台のサウンドプロセッサと同時に通信している状態 。
Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ レザーケース	リモートアシスタント用の保護ケース。ベルトに取り付けることが可能。
Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ 電源アダプタ	リモートアシスタントを充電する際、商用電源に接続するためのアダプタ。
Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ ストラップ	リモートアシスタントを首にかけるためのストラップ。
Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ レザーカバー	リモートアシスタント用のレザー製保護カバー。ベルトに取り付け可能。
Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ 保護カバー	リモートアシスタント用のゴム製保護カバー。
Cochlear™ Nucleus® CR100 シリーズ USB ケーブル	リモートアシスタントを以下に接続するために使用するケーブル： • コンピュータの USB ポート • 電源アダプタ • CP800 シリーズ　充電器
コイルセンサ	サウンドプロセッサに接続されている送信コイルが、サウンドプロセッサの音声信号を受信しているかを確認するために使用する。
リセットボタン	コクレアボタンが動作しない時、リモートアシスタントをリセットするためのボタン。

ホーム画面	プログラムの選択やキー設定を行う。
表示ランプ	リモートアシスタントの機能の状態や問題を光で視覚的に表示する。
左方向キー	• 感度を下げる。 • 操作モードを切り替える。 • 設定を変更する。
下方向キー	音量を下げたり、下にスクロールする際に使用する。
ペア設定する	リモートアシスタントとサウンドプロセッサが相互に通信するために行う設定。
サウンドプロセッサの設定メニュー	サウンドプロセッサの設定を行う。
状態確認画面	サウンドプロセッサの現在の状態が表示される。
リモートアシスタント	Cochlear™ Nucleus® CP800 シリーズサウンドプロセッサを操作するための携帯型リモートコントローラ。
リモートアシスタントの設定メニュー	リモートアシスタントの設定を行う。
リモートアシスタント USB ケーブルソケット	USB ケーブルをリモートアシスタントに接続するためのソケット。
右方向キー	• 感度を上げる。 • 操作モードを切り替える。 • 設定を変更する。
シンプルモード	日常的に使用する基本的な機能が使用できるモード。
ソフトキー	リモートアシスタントのディスプレイの上下に配置されている4つの多機能ボタン。

© Cochlear Limited 2010

切り替えボタン	リモートアシスタントの左側にあるボタン。以下の操作に使用する： • テレコイルとオートテレコイルをオン/オフにする。 • アクセサリを起動/停止する。
一側装用時の操作	リモートアシスタントが1 台のサウンドプロセッサと通信している状態。
ペア設定の解除	リモートアシスタントとサウンドプロセッサのペア設定を解除する。
上方向キー	音量を上げたり、上にスクロールする際に使用する。

© Cochlear Limited 2010

© Cochlear Limited 2010

索引

あ

上げる

感度 32
音量 31

アドバンスモード 26

え

FCC コンプライアンス 66

Everyday(エブリディ) プログラム 28

お

オートテレコイル

自動的にオフになる 36
使用する 36

オフにする

警告音と警告画面 51
パーソナルアラーム 50

オンにする

警告音と警告画面 51
パーソナルアラーム 50

音量

下げる 31
上げる 31

© Cochlear Limited 2010

か

感度

下げる 32
上げる 32

き

機器の分類 65

技術情報

環境条件 65
仕様 63–64

切り替える

両側装用時の操作モード間で 42–43

け

警告画面 61

げ

言語の選択 21

こ

固形異物

保護性能 57

さ

サウンドプロセッサの設定を変更する

アクセサリとマイクロホンのミキシング比を変更する 47
テレコイルとマイクロホンのミキシング比を変更する 46
パーソナルアラーム機能をオン/オフにする 50
操作ボタンをロック/ロック解除する 46
表示ランプ機能の設定を行う 48

© Cochlear Limited 2010

サウンドプロセッサのトラブルシューティング 61–62

サウンドプロセッサの表示ランプ機能

設定を行う 48

サウンドプロセッサをリセットする 38

下げる

感度 32
音量 31

し

充電する 11

初めて充電する場合 11
充電するには 13–17
充電時の推奨温度範囲 12
CP800 シリーズの充電器と USB ケーブルを使用する 16
CR100 シリーズの電源アダプタと USB ケーブルを使用する 14
コンピュータと USB ケーブルを使用する 15
充電するタイミング 12

使用

オートテレコイル 36
レザーケース 55
DEMO (デモ) モード 53
ストラップ 56–57
レザーカバー 55
保護カバー 56
リモートアシスタント 21–38
テレコイル 35–36
リモートアシスタントを使用してサウンドプロセッサのトラブルシューティングを行う 61–62

シンプルモード 26

© Cochlear Limited 2010

す

ストラップ

取り付け 56–57

せ

設定を変更する 45

ち

調整

感度 32
音量 31

て

テレコイル

背景雑音を低減する 35
オフにする 35
オンにする 35

DEMO（デモ）モード

終了する 54
使用 53

点検

サウンドプロセッサの電池残量 34
サウンドプロセッサの送信コイル 62
リモートアシスタントの電池残量 12

電磁波干渉

対応措置 25
原因 25

© Cochlear Limited 2010

ど

同時操作モード 41

の

Noise（ノイズ）プログラム 28

ひ

表示する

ホーム画面 30

ふ

Focus（フォーカス）プログラム 28

プログラム

Everyday(エブリディ） 28
Focus（フォーカス） 28
Music(ミュージック） 28
Noise（ノイズ） 28
選択 29

へ

変更

アクセサリとマイクロホンのミキシング 47–48
表示ランプ機能の設定 48
テレコイルとマイクロホンのミキシング46

ほ

保証書 63

ホーム画面 28

戻る 30
プログラムを選択する 29

© Cochlear Limited 2010

み

ミキシング比

アクセサリとマイクロホン 47
テレコイルとマイクロホン 46

Music(ミュージック) プログラム 28

水

損傷から保護する 57

り

リモートアシスタントの設定を変更する

リモートアシスタントのスピーカの音量を調整する 51
警告音/警告画面の表示を有効/無効にする 51

リセットボタン 38

リモートアシスタント 7

各部名称 9–10
寸法 64
ホーム画面 28
表示ランプ 37
ロック/ロック解除 19
材質 64
動作特性 64
物理構成 63–64
言語を選択する 21
仕様 63–64
起動/停止する 18
使用する 21–38

© Cochlear Limited 2010

リモートアシスタントのお手入れ

清掃 58
保護 55–57
ストラップを使用する 56–57
警告と注意事項 59

リモートアシスタントの操作

操作可能範囲 24

リモートアシスタントの表示言語を選択する 21

リモートアシスタントとペア設定する 22

リモートアシスタント用保護カバー

使用する 56

リモートアシスタントを起動/停止する 18

リモートアシスタントを清掃する 58

リモートアシスタントを保護する 55–57

両側装用時の操作

操作モードの画面 39
操作モード 40–41
操作モードを切り替える 42–43

れ

レザーカバー

使用 55

レザーケース

使用 55

© Cochlear Limited 2010

ろ

ロック

サウンドプロセッサの操作ボタン 46
リモートアシスタントの操作ボタン 19

ロック解除

サウンドプロセッサの操作ボタン 46
リモートアシスタントの操作ボタン 19

© Cochlear Limited 2010

© Cochlear Limited 2010

Cochlear™

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove NSW 2066, Australia Tel: 61 2 9428 6555 Fax: 61 2 9428 6352
Cochlear Americas 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA Tel: 1 303 790 9010 Fax: 1 303 792 9025
Cochlear AG European Headquarters, Peter Merian-Weg 4, CH - 4052 Basel, Switzerland Tel: 41 61 205 0404 Fax: 41 61 205 0405
European Representative, Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG Karl-Wiechert-Allee 76A, D-30625 Hannover
Germany Tel: 49 511 542 770 Fax: 49 511 542 7770
Cochlear Europe Ltd 9 Weybridge Business Park, Addlestone Road, Addlestone, Surrey KT15 2UF, United Kingdom Tel: 44 1932 87 1500 Fax: 44 1932 87 1526
株式会社日本コクレア 〒113-0033 東京都文京区2-3-7 お茶の水元町ビル Tel: 03-3817-0241 Fax: 03-3817-0245
Cochlear (HK) Ltd Unit 1810, Hopewell Centre, 183 Queens Road East, Wan Chai, Hong Kong SAR Tel: 852 2530 5773 Fax: 852 2530 5183
Cochlear (HK) Ltd Beijing Representative Office Unit 2208 Gemdale Tower B, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022
P.R. China Tel: 86 10 5909 7800 Fax: 86 10 5909 7900
Cochlear Ltd (Singapore Branch) 6 Sin Ming Road, #01-16 Sin Ming Plaza Tower 2, Singapore 575585 Tel: 65 6553 3814 Fax: 65 6451 4105
Cochlear Korea Ltd 1st floor, Cheongwon building, 828-5, Yuksam dong, Kangnam gu, Seoul, Korea Tel: 82 2 533 4663 Fax: 82 2 533 8408
Cochlear Benelux NV Schaliënhoevedreef 20i, B - 2800 Mechelen, Belgium Tel: 32 1579 5511 Fax: 32 1579 5500
Cochlear Italia SRL Via Augusto Murri, 45/L, 40137 Bologna, Italia Tel: 39 051 7419811 Fax: 39 051 392062
Cochlear France S.A.S. Route de l'Orme aux Merisiers, Z.I. Les Algorithmes - Bât. Homère, 91190 Saint Aubin, France Tel: 33 811 111 993 Fax: 33 160 196 499
Cochlear Nordic AB Konstruktionsvägen 14, SE - 435 33 Mölnlycke, Sweden Tel: 46 31 335 14 61 Fax: 46 31 335 14 60
Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Sti. Cubuklu Mah. Bogazici Cad., Bogazici Plaza No: 6/1, Kavacik
TR - 34805 Beykoz-Istanbul, Turkey Tel: 90 216 538 5900 Fax: 90 216 538 5919
Cochlear Canada Inc 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1 Canada Tel: 1 416 972 5082 Fax: 1 416 972 5083
www.cochlear.com

Nucleusはコクレア社の登録商標です。
Cochlear、楕円形のロゴ、Freedom はコクレア社の商標です。

本書の内容は、発行の時点ではすべて事実と相違ありませんが、仕様は予告なく変更される可能性があります。

Hear now. And always

印刷：オーストラリア
231684 ISS2
Japanese translation of 195993 ISS6